

## 湯川村耐震診断結果表（学校・教育関係等施設）

学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、村民の方々の災害時の避難施設にもなっています。

教育委員会では、児童生徒の安全確保を目的に昭和56年以前に建設した施設について、耐震強度を知るための耐震診断を実施しました。その結果は以下の表のとおりです。

なお、昭和57年度以降に建設した施設は、新しい耐震基準で建設されていますので調査の必要はありません。

施設名	建築区分	建築年	診断年次	Is 値	補強計画 Is 値	補強年次
笈川小学校	校 舎	昭和 53	平成 20	0.59	0.77	平成 22
	屋内体育館	昭和 40	平成 20	0.048	0.838	平成 21
勝常小学校	校 舎	昭和 54	平成 20	0.532	0.842	平成 22
	屋内体育館	昭和 63 年 1 月竣工（新耐震設計法により耐震性あり）				
湯川中学校	校 舎	平成 3 年 5 月竣工（新耐震設計法により耐震性あり）				
	屋内運動場	平成 17 年 4 月竣工（新耐震設計法により耐震性あり）				
ゆがわ幼稚園	園 舎	平成 21 年 3 月竣工（新耐震設計法により耐震性あり）				
湯川村保育所	園 舎	平成 6 年 2 月竣工（新耐震設計法により耐震性あり）				
湯川村公民館	庁 舎	昭和 49	平成 21	0.377	未 定	平成 24 予定
湯川村体育館	屋内体育館	昭和 55	平成 21	0.259	未 定	未 定

※Is 値とは「構造耐震指標」で建物の構造的な耐震性能を評価する指標です。

Is 値が大きいほど耐震性が高いこととなります。

※湯川村防災計画では避難施設の Is 値を 0.75 以上と定めています。

### 【Is 値の目安】

0.3 未満	大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い
0.3 以上～0.6 未満	大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性がある
0.6 以上	大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低い

※ 大規模な地震・・・震度 6 以上の地震